



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社アйдママーケティングコミュニケーション
代表者名 代表取締役 蛭谷 貴
(コード番号：9466 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務 経営管理部長 中川 強
(TEL. 076-439-7880)

通期連結業績予想と実績値の差異及び個別業績と前期実績との差異、 並びに減損損失の計上に関するお知らせ

2022年3月期の通期連結業績予想と実績値の差異及び個別業績と前期実績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。また、減損損失の計上についてあわせてお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,600	百万円 400	百万円 400	百万円 300	円 銭 22.94
実績値 (B)	6,117	233	286	62	4.79
増減額 (B-A)	△483	△166	△113	△237	—
増減率 (%)	△7.3%	△41.6%	△28.3%	△79.1%	—
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	6,095	212	249	△414	△31.59

2. 2022年3月期個別業績と前期個別業績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期業績 (A) (2021年3月期)	百万円 5,377	百万円 378	百万円 406	百万円 143	円 銭 10.89
当期業績 (B) (2022年3月期)	5,420	230	250	9	0.76
増減額 (B-A)	42	△148	△155	△133	—
増減率 (%)	0.8%	△39.1%	△38.3%	△93.0%	—

3. 差異の理由

通期連結業績予想と実績との差異に関して、新型コロナウイルス感染症が新たな変異ウイルスにより再拡大し、顧客である流通小売業では再び密を避けるため販売促進活動を控える状況となったことから、売上、営業利益及び経常利益が前回発表予想より減少いたしました。また、減損損失を特別損失に計上することなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想より減少いたしました。

個別業績と前期個別業績との差異に関して、上記のとおり新型コロナウイルス感染症の影響により主力の販促広告が減少いたしました。営業展開が奏功し売上については前期実績水準となりましたが、売上構成の差により営業利益及び経常利益が前期実績より減少いたしました。また、減損損失を特別損失に計上することなどにより、当期純利益が前期実績より減少いたしました。

4. 減損損失（特別損失）の計上について

当社グループが保有する無形固定資産について、新型コロナウイルス感染症の影響等を保守的に考慮し、将来の回収可能性を検討した結果、固定資産の減損に係る会計基準に基づき減損損失（連結 180 百万円、単体 142 百万円）として特別損失に計上しております。なお、本特別損失は一過性の損失のため、2023 年 3 月期には発生が見込まれない費用となります。

以上